

食により人々を健康に 実践栄養学 80年の歩み



1933(昭和8)年に本学園が発足してから80年。栄養学の発展と人々の健康の維持・増進に情熱を傾けた創立者、香川昇三・綾の教育理念は変わることなく、現在も引き継がれています。二人は共に医師として脚気治療の食事を研究した経験から、食生活の改善によって病気を予防できることを知り、人々に広く伝えたいと本学園を創立しました。そして、医学や栄養学などの理論を生活の中で実践する方法——「料理カード」「計量スプーン」「四群点数法」などによって、健康に配慮したおいしい食事法の普及に尽力しました。月刊誌『栄養と料理』の刊行や社会通信教育によっても、「なにをどれだけ食べたらよいか」を学び、実践することを可能にしたのです。本学園は今も食による病気予防の研究と同時に、実践栄養学の普及に努めています。その80年の歩みをご紹介します。



▲手にとってご覧になれるコーナー



▲計量スプーンとへのり金型



▲香川綾97歳の食卓

平成25年3月9日(土)～平成26年3月初旬

開室日時:月曜日～金曜日 9:10～17:00
土曜日 9:10～12:00

※電力事情等で時間変更をする場合があります。

閉室:日曜・祝日・年末年始 ※学校行事等で閉室する場合があります。

入室料:無料

交通案内:東武東上線「池袋」駅より急行42分、「若葉」駅下車徒歩3分

女子栄養大学
香川昇三・綾記念展示室

埼玉県坂戸市千代田3-9-21
坂戸キャンパス4号館(図書館棟)2階
☎049-284-3489
ホームページ <http://www.eiyo.ac.jp>